



# なるほどなっとくニュース

県立山口博物館

学校地域連携担当

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館のホームページでダウンロードすることができます。

## ゆき ふ ゆき じんこうけっしょう 雪が降らなくても「雪の人工結晶」でホワイトクリスマス？

雪が積もる本格的な冬のシーズンとなりました。雪の結晶の独特な形はかなり有名ですが、雪を屋外で観察するのは大変なので、結晶をじっくり見たことがある人は少ないのでは？ その結晶をドライアイスを用いて屋内で作ってみました。小粒ですが、キラキラと輝いてきれいですよ。

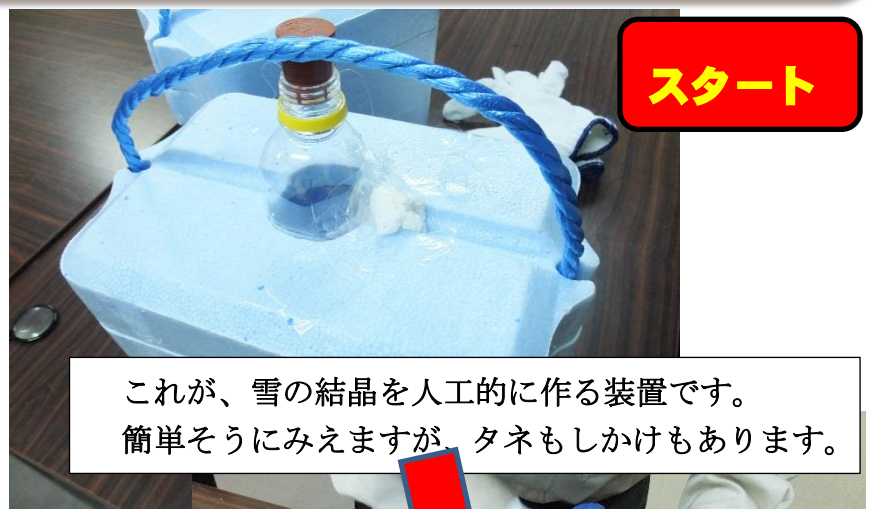
これが人工的に作った「雪の結晶」です。

ゴール



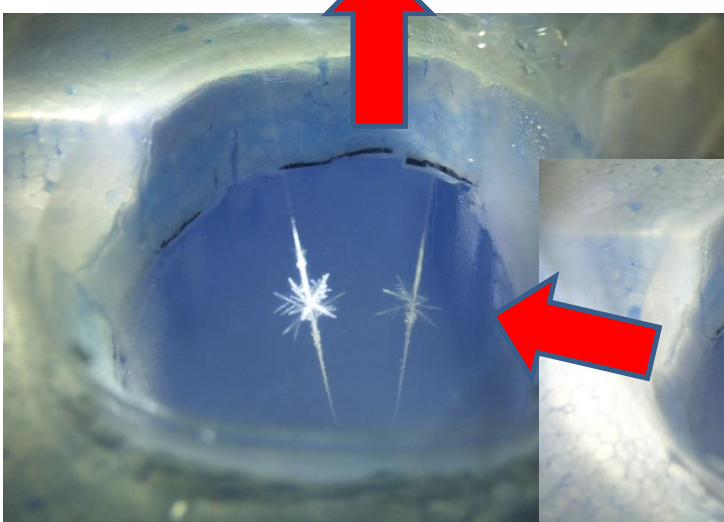
1時間以上過ぎると、こんなに立派で綺麗な結晶になりました。これ以上になると自重で落ちてしまうことが多いようです。

スタート

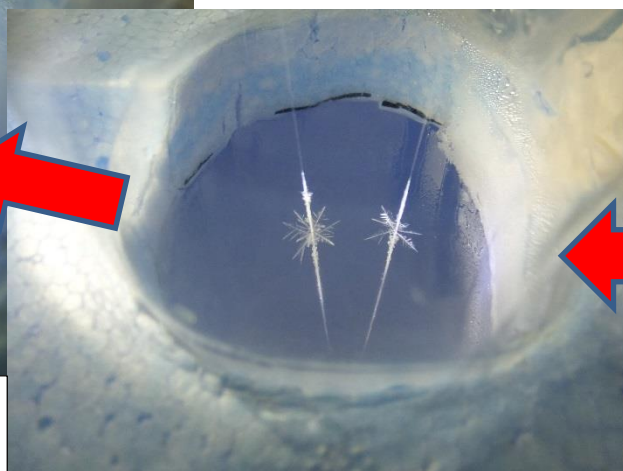


これが、雪の結晶を人工的に作る装置です。簡単そうにみえますが、タネもしかけもあります。

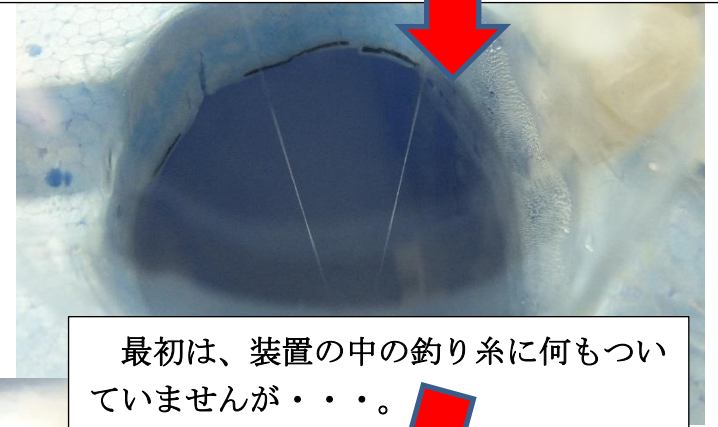
仕掛けの1つはドライアイスです。その他の仕掛けは考えてみてください。



温度や空気中の水蒸気量などの微妙な違いで形や大きさが変わります。



30分もすると明らかに結晶の形に成長してきます。



最初は、装置の中の釣り糸に何もついていませんが・・・。



十数分後から徐々に結晶らしきものが見え始め・・・。

この実験のしくみは、基本的には上空でできる雨粒や雪（氷）の結晶のでき方と同じです。これから雪が降るのを見かけたら、なぜ雪が降るのか考えたり、なぜいろいろな形の結晶ができるのか調べたりしてみましょう。